



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 株式会社 ゴールドウイン

上場取引所 東

コード番号 8111 URL <http://www.goldwin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 明男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 二川 清人

TEL 03-3481-7203

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,551	12.8	△120	—	600	—	379	—
23年3月期第2四半期	18,213	0.4	△845	—	△226	—	△800	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 717百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,460百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	6.51	—
23年3月期第2四半期	△13.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	43,825	15,674	35.3
23年3月期	40,305	15,203	37.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 15,491百万円 23年3月期 15,010百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	6.2	800	32.6	3,100	12.2	2,300	54.5	39.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	58,478,218 株	23年3月期	58,478,218 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	209,722 株	23年3月期	197,742 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	58,276,963 株	23年3月期2Q	58,286,413 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、第1四半期における東日本大震災の影響による経済停滞や第2四半期に入ってから欧州での金融不安の拡大とそれに伴う円高の進行等により、先行き不透明感を増しております。スポーツアパレル業界におきましても、震災の影響による消費自粛や消費マインドの冷え込み等の影響を受け、全般に厳しい市場環境が続いております。

このような経営環境の中、当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用会社）は当連結会計年度を第2年度とする中期経営計画に沿ってその達成に向けた諸施策を実行中であります。

当連結会計年度は特に3月の大震災の影響で極めて厳しい環境でのスタートとなりましたが、その後の市況回復や7、8月にかけての猛暑により夏物商品の消化が順調に進んだこと、更に中期経営計画の基本課題として取り組んだ発注流動改革あるいは直営自主管理売場拡充による実需型ビジネスへの業態転換が進んだこと等の経営改革の効果が現れたこともあり、前年同期比で売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに改善し増収増益を確保することができました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高20,551百万円（前年同期比12.8%増）、営業損失120百万円（前年同期は845百万円の損失）、経常利益600百万円（前年同期は226百万円の損失）、四半期純利益379百万円（前年同期は800百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの売上高は取扱商品の特性上、上半期と下半期の業績に季節的変動があるため、連結会計年度の上半期と下半期の売上高との間に著しい相違があります。

報告セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### (アウトドアスタイル事業)

「ザ・ノース・フェイス」ブランドについては、消費者の健康意識の高まりによるアウトドア市場の活性化や、直営店の新規出店および既存店の改装効果もあり好調に推移しております。「ヘリー・ハンセン」ブランドについても、今春夏シーズンから本格展開を開始したアウトドアラインの展開が軌道に乗りつつあり堅調に推移しております。結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比20.0%増の9,594百万円となりました。

#### (アスレチックスタイル事業)

「チャンピオン」ブランドについては、直営店舗の出店およびショップインショップなどのコーナー展開を積極的に推進中であり、従来型の卸形態からの業態転換が進んでおります。さらにウォームアップスーツやスウェットパーカー等のヒット商材が売上を牽引しており好調に推移しております。「エレッセ」ブランドについては、主力の百貨店販売はやや苦戦しておりますが、ナショナルスポーツチェーン向けおよび直営店販売は、順調に推移しており今秋冬以降回復基調にあります。「スピード」ブランドについては、東日本大震災以降競技系水着は苦戦しておりますが、フィットネス系水着は堅調に推移しております。結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比11.1%増の6,817百万円となりました。

#### (アクティブスタイル事業)

ウインター関連商品の店頭立ち上げはほぼ例年並みに推移する一方、自転車、バイクウエア、モーターサイクルウエアなどの通年型商品の拡販が順調に進んだ結果、売上高は前年同期比5.0%増の1,986百万円となりました。

#### (その他事業)

コンプレッションアンダーウエアを主軸とする「C 3 f i t（シースリーフィット）」や加齢臭と汗のニオイを大幅に減少させる素材『マキシフレッシュプラス』を採用した「MXP（エムエックスピー）」のアンダーウエア等については市場認知が進み、安定商材として全社売上拡大に寄与しておりますが、半導体工場向けクリーンルームウエアの販売が東日本大震災等の影響により苦戦しました。結果、売上高は前年同期比1.6%減の2,152百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は43,825百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,519百万円増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,048百万円増加し、28,151百万円となりました。主な要因は、借入金の増加2,739百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて471百万円増加し、15,674百万円となりました。その結果、自己資本比率は35.3%となっております。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は5,658百万円となり、前連結会計年度末より268百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用したキャッシュ・フローは1,529百万円(前年同期は1,524百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益562百万円の計上に加え、仕入債務の増加823百万円があったものの、たな卸資産の増加1,967百万円や売上債権の増加1,165百万円等があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは605百万円(前年同期は140百万円の使用)となりました。主な要因は、定期預金の預入による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られたキャッシュ・フローは2,396百万円(前年同期は2,914百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入れによる収入によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、平成23年11月7日に公表した業績予想の通りであります。上半期業績は期首計画を大きく上回る結果を確保することができ、また平成23年11月1日付けでブラックアンドホワイトスポーツウェア株式会社を連結子会社化したことに伴い、当連結会計年度の影響としては売上高で約1,000百万円の増収が想定されますが、下半期以降の市況環境については、未だ不確定要素が多く予断を許さぬ状況が続いており不透明感が残ることから、利益面におきましては、当初予想を据え置いております。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,913	6,593
受取手形及び売掛金	9,349	10,515
商品及び製品	6,908	8,810
仕掛品	64	91
原材料及び貯蔵品	831	869
その他	1,496	1,188
貸倒引当金	△10	△11
流動資産合計	24,553	28,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,869	1,814
土地	1,021	1,018
その他（純額）	746	862
有形固定資産合計	3,637	3,695
無形固定資産		
商標権	405	244
その他	657	630
無形固定資産合計	1,062	875
投資その他の資産		
投資有価証券	6,994	7,226
差入保証金	2,940	2,887
その他	1,413	1,379
貸倒引当金	△297	△297
投資その他の資産合計	11,052	11,196
固定資産合計	15,752	15,766
資産合計	40,305	43,825

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,339	11,163
短期借入金	403	4,413
1年内償還予定の社債	32	32
1年内返済予定の長期借入金	2,586	2,187
未払法人税等	138	118
賞与引当金	675	703
返品調整引当金	255	267
その他	2,317	1,820
流動負債合計	16,748	20,704
固定負債		
社債	68	52
長期借入金	4,795	3,923
退職給付引当金	1,966	2,068
その他	1,524	1,402
固定負債合計	8,354	7,446
負債合計	25,102	28,151
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,329	10,329
資本剰余金	8	8
利益剰余金	6,942	7,089
自己株式	△44	△48
株主資本合計	17,236	17,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	4
繰延ヘッジ損益	△11	△6
為替換算調整勘定	△2,242	△1,886
その他の包括利益累計額合計	△2,226	△1,888
新株予約権	178	178
少数株主持分	14	4
純資産合計	15,203	15,674
負債純資産合計	40,305	43,825

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	18,213	20,551
売上原価	10,835	11,967
売上総利益	7,377	8,584
返品調整引当金戻入額	79	—
返品調整引当金繰入額	—	12
差引売上総利益	7,456	8,572
販売費及び一般管理費	8,302	8,692
営業損失(△)	△845	△120
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	27	29
持分法による投資利益	682	830
その他	120	47
営業外収益合計	843	921
営業外費用		
支払利息	157	133
その他	67	66
営業外費用合計	225	200
経常利益又は経常損失(△)	△226	600
特別利益		
固定資産売却益	—	1
貸倒引当金戻入額	37	—
その他	0	0
特別利益合計	37	2
特別損失		
固定資産処分損	2	0
店舗閉鎖損失	0	10
ブランド整理損	53	—
投資有価証券評価損	41	13
特別退職金	8	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	278	—
その他	37	7
特別損失合計	422	40
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△611	562
法人税、住民税及び事業税	175	173
法人税等調整額	11	8
法人税等合計	186	181
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△798	380
少数株主利益	1	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△800	379



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△798	380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△221	△23
繰延ヘッジ損益	6	5
為替換算調整勘定	△29	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△416	343
その他の包括利益合計	△661	337
四半期包括利益	△1,460	717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,461	717
少数株主に係る四半期包括利益	1	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△611	562
減価償却費	437	490
投資有価証券評価損益(△は益)	41	13
退職給付引当金の増減額(△は減少)	66	102
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△45	0
受取利息及び受取配当金	△40	△44
支払利息	157	133
持分法による投資損益(△は益)	△682	△830
有形固定資産売却損益(△は益)	2	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△331	△1,165
たな卸資産の増減額(△は増加)	△924	△1,967
仕入債務の増減額(△は減少)	△8	823
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	278	—
その他	△112	△200
小計	△1,773	△2,083
利息及び配当金の受取額	580	906
利息の支払額	△158	△140
法人税等の支払額	△173	△209
その他	—	△1
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,524	△1,529
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,230	△679
定期預金の払戻による収入	2,308	169
有形及び無形固定資産の取得による支出	△154	△145
有形及び無形固定資産の売却による収入	26	4
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
投資有価証券の売却による収入	1	1
貸付けによる支出	—	△45
差入保証金の差入による支出	△109	△53
その他	20	144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140	△605
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	6,390	10,980
短期借入金の返済による支出	△4,620	△6,970
長期借入れによる収入	2,900	1,000
長期借入金の返済による支出	△1,549	△2,270
社債の償還による支出	△140	△16
配当金の支払額	—	△233
その他	△66	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,914	2,396
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,244	268
現金及び現金同等物の期首残高	3,502	5,389
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,746	5,658

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アウトドア スタイル事 業	アスレチ ックスタ イル事業	アクティ ブスタ イル事 業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,997	6,136	1,893	16,027	2,186	—	18,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	0	0	161	△161	—
計	7,997	6,136	1,893	16,027	2,347	△161	18,213
セグメント利益又は損 失(△)	668	△576	125	217	31	△475	△226

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハイテック事業およびコンプレッションアンダー事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,410百万円および持分法による投資利益682百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アウトドア スタイル事 業	アスレチ ックスタ イル事業	アクティ ブスタ イル事 業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,594	6,817	1,986	18,398	2,152	—	20,551
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	4	0	9	170	△180	—
計	9,598	6,821	1,987	18,408	2,323	△180	20,551
セグメント利益又は損 失(△)	1,282	△223	154	1,213	△46	△566	600

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハイテック事業およびコンプレッションアンダー事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,479百万円および持分法による投資利益830百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当社は、平成23年10月25日開催の取締役会において、ブラックアンドホワイトスポーツウェア株式会社の株式を取得し、子会社化することについて決議し、同年11月1日に実施いたしました。

(1) 株式取得の目的

ブラックアンドホワイトスポーツウェア株式会社は、「Black & White」ブランドのゴルフウェア・カジュアルウェアおよびグッズ類の製造販売会社であり、創業29年の歴史を持つ業界有数の地歩を有する企業であります。

当社は、中期経営計画に掲げた「成長戦略の推進による持続的成長」という基本方針に基づき、各分野で事業拡大に向けた施策を実行中ではありますが、今般事業領域の拡大を目指し同社を子会社化することにより、新たにゴルフ事業に参入する事を目的として同社株式を取得いたしました。

(2) 対象会社の名称、事業内容、規模

① 名称

ブラックアンドホワイトスポーツウェア株式会社

② 所在地

東京都港区赤坂六丁目14番3号

③ 事業内容

スポーツウェアの製造・販売

④ 資本金

45百万円

⑤ 設立年月日

昭和58年7月1日

(3) 株式取得の時期

平成23年11月1日

(4) 株式の取得先

近文商事株式会社より500株、三井物産株式会社より315株を自己資金にて取得いたしました。

(5) 取得した株式の種類、数、取得価額、取得前および取得後の持分比率

① 取得した株式の種類

普通株式

② 取得した株式の数

815株

③ 取得価額

641百万円

④ 取得前の持分比率 0.0%

取得後の持分比率 90.5%